

あいち食の安全・安心推進アクションプランの 2018 年度計画の進捗状況について

1 あいち食の安全・安心推進アクションプランについて

あいち食の安全・安心推進アクションプランとは、

- 視点 1 「生産者、加工者、流通・販売者における食の安全管理体制の推進」
- 視点 2 「食の安全のための効率的かつ効果的な監視・検査等の実施」
- 視点 3 「県民の食の安心に向けた普及啓発・教育の実施」

の 3 つの視点を柱として、県の食品安全確保に関する**具体的な施策（20 のアクション）**を体系化した行動計画です。（2003 年策定、最終改定：2016 年 6 月）

各アクションでは**年度ごとに数値目標等を設定し、進行管理を実施**することにより、**食の安全・安心の確保に努めています**。

2 2018 年度計画の進捗状況

全 20 アクションのうち、計画どおり進捗したものは 16 アクション（80%）、計画どおり進捗しなかったものは 4 アクション（20%）でした。

●2018 年度計画（20 アクション）の進捗状況

評価	区 分	アクション数	アクション番号
A	計画どおりに事業が進捗したアクション (進捗率等が100%以上又は計画を達成したアクション)	16 (80%)	1、3、4、5、6、 7、8、9、10、11、 13、14、15、16、 17、20
B	ほぼ計画どおりに事業が進捗したアクション (進捗率等が80%以上100%未満又は概ね計画を達成したアクション)	0 (0%)	-
C	計画どおりに事業が進捗しなかったアクション (進捗率等が80%未満又は計画が達成されなかったアクション)	4 (20%)	2、12、18、19

(参考) 2017 年度計画（20 アクション）の進捗状況

評価	区 分	アクション数	アクション番号
A	計画どおりに事業が進捗したアクション (進捗率等が100%以上又は計画を達成したアクション)	15 (75%)	1、2、3、4、5、 6、7、10、11、 13、14、15、16、 17、20
B	ほぼ計画どおりに事業が進捗したアクション (進捗率等が80%以上100%未満又は概ね計画を達成したアクション)	2 (10%)	8、9
C	計画どおりに事業が進捗しなかったアクション (進捗率等が80%未満又は計画が達成されなかったアクション)	3 (15%)	12、18、19

[各アクションの進捗状況の評価結果一覧]

視点1 生産者、加工者、流通・販売者における食の安全管理体制の推進

(1) 安全な農林水産物の生産の推進

番号	施策項目	2017年度 計画 評価	2018年度 計画 評価
1	環境と安全に配慮した農業の推進	A	A
2	安全な畜産物の生産と家畜疾病の監視	A	C
3	安全なきのこの生産	A	A
4	安全な貝類の出荷	A	A
5	農薬の適正な販売・使用による安全な農産物の生産	A	A
6	飼料、動物用医薬品及び水産用医薬品の適正使用	A	A
7	安全な農産物の生産を目指した技術研究	A	A
8	食品流通における食の安全・安心の確保	B	A

(2) 食品加工施設などにおける自主管理の推進

番号	施策項目	2017年度 計画 評価	2018年度 計画 評価
9	HACCPに基づいた食品事業者の自主管理の推進	B	A
10	食の安全に関する検査・製造技術の研究開発及び指導	A	A

視点2 食の安全のための効率的かつ効果的な監視・検査等の実施

(1) 食品の監視・検査の確実な実施

番号	施策項目	2017年度 計画 評価	2018年度 計画 評価
11	安全な学校給食用物資の供給	A	A
12	食品営業施設に対する監視指導	C	C
13	医薬品成分を含む健康食品などの流通防止	A	A
14	輸入食品を含む食品などの安全検査	A	A
15	安全な食肉の流通確保	A	A
16	食品表示の調査・監視	A	A

視点3 県民の食の安心に向けた普及啓発・教育の充実

(1) 食の安心に向けた食育の推進

番号	施策項目	2017年度 計画 評価	2018年度 計画 評価
17	地産地消や食育の推進	A	A
18	学校における食の指導の充実	C	C

(2) 食に関するリスクコミュニケーションの推進

番号	施策項目	2017年度 計画 評価	2018年度 計画 評価
19	消費者に対する食の安全に関する知識普及	C	C
20	食の安全に関するリスクコミュニケーションの推進	A	A

3 2019年度計画における主な変更点

5つのアクションについて、事業の見直し等により、数値目標等の修正がありました。なお、事業の内容の大幅な拡充はありません。

アクションにおける主な変更点は以下のとおりです。

- ・アクション2 安全な畜産物の生産と家畜疾病の監視
BSE検査対象月齢が平成31年度から変更となったため、検査対象を48か月齢以上から96か月齢以上に変更
- ・アクション12 食品営業施設に対する監視指導
施設数の減少により事業を見直したため、監視指導計画の件数を90,953件から88,396件に変更
- ・アクション14 輸入食品を含む食品などの安全検査
食品衛生監視指導計画に基づく食品などの検査について、実施検査計画の見直しにより11,798件から11,803件に変更
- ・アクション16 食品表示の調査・監視
食品表示法の完全移行に向け、ホームページにおける食品表示基準（保健事項）の情報提供の項目追加
- ・アクション19 消費者に対する食の安全に関する知識普及
目標値を見直したため、講習会参加者アンケート結果における「理解が深まった」旨の回答割合を95%から90%へ変更

あいち食の安全・安心推進アクションプランの2018年度計画の進捗状況について

視点 1 生産者、加工者、流通・販売者における食の安全管理体制の推進

(1) 安全な農林水産物の生産の推進

アクション		2018年度計画		実績	備考	担当課
1	環境と安全に配慮した農業の推進	目標	エコファーマーの育成人数 平成32年度までに延べ5,600人	5,673人		農業経営課
		事業の内容	エコファーマーの育成・支援	認定会議 4回実施		
	評価	A				
2	安全な畜産物の生産と家畜疾病の監視	目標	家畜伝染病発生頭数 過去5年間の発生件数の 平均値以下 10件以下	15件	豚コレラ発生のため	畜産課
		事業の内容	畜産農家の飼養衛生管理について立入検査の実施 検査実績/検査計画=100%の達成	100%		
			養鶏農家におけるサルモネラ汚染防止対策技術(鶏卵のサルモネラ総合対策指針)の普及	個別巡回指導 218戸		
			BSE検査頭数/48か月齢以上の死亡牛発生頭数=100%	100%		
評価	C					
3	安全なきのこの生産	目標	県内の生産者における、食品衛生法に基づく放射性物質に関する基準の超過事例 0件	0件		林務課
		事業の内容	生産者団体開催の研修会等において技術・情報の提供 4回延べ60名	6回延べ97名		
			県産きのこ展示PR会等において、きのこの安全・安心に関するパンフレットの配布 PR会1回 パンフレットの配付100部	PR会1回 パンフレット配布100部		
評価	A					
4	安全な貝類の出荷	目標	愛知県産貝類の貝毒を原因とする健康被害事例 0件	0件		水産課
		事業の内容	貝毒原因ブランクton調査 調査期間:4~7月、11~3月 調査地点:1回当たり14地点 調査回数:年間18回	4~7月、11~3月 1回当たり13~14地点 年間18回		
			貝毒検査 調査期間:4~5月、3月 調査地点:1回当たり6地点 調査回数:麻痺性5回・下痢性2回	4~5月、3月 1回当たり6地点 麻痺性5回・下痢性2回		
評価	A					
5	農薬の適正な販売・使用による安全な農産物の生産	目標	本県産農産物における農薬の残留基準値超過事例 0件	0件		農業経営課
		事業の内容	農薬危害防止運動の実施	運動を実施		
			農薬危害防止運動集中実施期間:6~8月	6~8月に実施		
			農薬適正販売・使用推進会議の開催	5月に開催		
			農薬安全使用対策講習会の開催 5回450名	5回 526人		
			農薬販売者・使用者に対する立入検査 農薬販売者の15% 使用者適宜	農薬販売者の15%		
			農薬危害防止のための講習会 20,000名	22,988名		
			農薬管理指導士の養成 100名	82名		
農薬取締職員による検査指導の継続・強化 8か所38名配置	8か所36名配置					
評価	A					
			地域特産作物の農薬登録拡大試験の実施 10剤	16剤		

アクション		2018年度計画		実績	備考	担当課
6	飼料、動物用医薬品及び水産用医薬品の適正使用	目標	飼料又は動物用医薬品の使用が原因となって生産された有害畜産物による健康被害事例 0件	0件		畜産課
			水産用医薬品残留規制値を超えた水産物を原因とする健康被害事例 0件	0件		水産課
		事業の内容	飼料製造工場立入検査 9施設	9施設		畜産課
			飼料栄養性検査 18検体	18検体		
			飼料表示検査 18検体	18検体		
			畜産農家等巡回指導・抜取調査 60戸	60戸		水産課
	水産用医薬品の適正使用の指導対象者:ウナギ、アユ、マス養殖業者 実施率100%		100%			
水産用医薬品の使用状況調査対象者:ウナギ、アユ、マス養殖業者 実施率100%	100%					
評価	A	水産用医薬品の残留確認対象魚種:ウナギ、アユ、ニジマス 計16検体	計18検体			
7	安全な農産物の生産を目指した技術研究	目標	安全で良質な農畜産物を生産する技術・品種の開発 2016年から2020年までに 5件	4件		農業経営課
		事業の内容	消費者視点に立った食の安全を支える農業の推進 「耐病虫害性水稻品種・育種素材の開発」等 10課題	10課題		
8	食品流通における食の安全・安心の確保	目標	食品安全広域機動班が実施する監視の割合(監視実績/監視目標(施設数)) 100%	102.6% (監視実績10,769/ 監視目標10,500 (施設数))		生活衛生課
		事業の内容	米トレーサビリティ法の啓発・指導 研修会(20回)等	47回		食育消費流通課
		評価	A	食品を廃棄する際の不正流通防止について指導	監視時に必要に応じて実施	

(2)食品加工施設などにおける自主管理の推進

アクション		2018年度計画		実績	備考	担当課
9	HACCPに基づいた食品営業者の自主管理の推進	目標	「愛知県HACCP導入施設認定制度」に基づく新規認定施設数 5施設	8施設		生活衛生課
		事業の内容	保健所及び食品衛生検査所等による食品衛生教育講習会 300回	221回		
			食品衛生責任者養成講習会 16回	16回		
			食品衛生責任者再講習会 100回	100回		
			HACCP推進事業・自主衛生管理に関する助言・指導 1,100施設	2,198施設		
	評価	A	大量調理施設及び食品製造施設に対するHACCPの導入支援 HACCP導入研修 15施設 HACCP実地指導 5施設×1回	27施設 5施設×1回		
10	食の安全に関する検査・製造技術の研究開発及び指導	目標	あいち産業科学技術総合センター食品工業技術センターにおける技術指導・相談件数 5,700件	6,697件		産業科学技術課
		事業の内容	講習会等を通じた技術情報の提供	35回		
	評価	A	食品製造業者への技術指導の実施	3,022件		

視点 2 食の安全のための効率的かつ効果的な監視・検査等の実施

(1)食品の監視・検査の確実な実施

アクション		2018年度計画		実績	備考	担当課
11	安全な学校給食用物資の供給	目標	学校給食における食中毒の発生件数 0件	0件		保健体育課
		事業の内容	・食材の腸管出血性大腸菌O157検査 ・野菜・果物の残留農薬検査 ・調理品のO157及び細菌検査 3種検査 168検体	3種検査 168検体		
評価	A					
12	食品営業施設に対する監視指導	目標	食品事業者を原因施設とする食中毒発生件数 12件以下	20件		生活衛生課
		事業の内容	監視指導計画 90,953件	91,944件		
評価	C					
13	医薬品成分を含む健康食品などの流通防止	目標	医薬品成分を含む健康食品による健康被害発生件数 0件	0件		医薬安全課
		事業の内容	医薬品的効能効果を標ぼうする健康食品の監視指導 15件 医薬品成分を含む健康食品の買い上げ検査 12検体	34件 12検体		
評価	A					
14	輸入食品を含む食品などの安全検査	目標	流通食品を原因とする食中毒等健康被害事例 0件	0件		生活衛生課
		事業の内容	食品衛生監視指導計画に基づく食品などの検査の実施検査計画 11,798件(うち流通食品の放射性物質検査 100件)	12,355件(100件)		
評価	A					
15	安全な食肉の流通確保	目標	食肉を原因とする人獣共通感染症健康被害事例 0件	0件		生活衛生課
		事業の内容	検査実績(と畜検査頭数+食鳥検査羽数)/申請件数(と畜検査頭数+食鳥検査羽数) =100%の達成 と畜場の衛生監視 12件	100% 12件		
評価	A					
16	食品表示の調査・監視	目標	夏期一斉監視における表示不適の割合 1%以下	0.08% 表示不適 7件 監視件数 9,278件		生活衛生課
		事業の内容	食品表示法に基づく食品表示基準(品質事項)の遵守状況調査の実施 計画実施率100%	417件		食育消費流通課
		事業の内容	食品表示110番の設置 継続	継続		
		事業の内容	食品衛生監視員による食品表示監視の実施 継続	監視時に必要に応じて実施		生活衛生課
		事業の内容	普及啓発研修会の開催 20回	47回		食育消費流通課
		事業の内容	消費生活モニターへの食料品に関する情報提供 3回	3回		
評価	A	消費生活モニターなどへの食の安全・安心に関する知識・情報の提供 研修会(1回)など	1回		県民生活課	

視点 3 県民の食の安心に向けた普及啓発・教育の充実

(1)食の安心に向けた食育の推進

アクション		2018年度計画		実績	備考	担当課
17	地産地消や食育の推進	目標	食育推進ボランティアから食育を学んだ人数 10万人	106,750人		食育消費流通課
		事業の内容	いいともあいちネットワーク会員の充実	1,595件		
			ホームページなどの情報発信の充実 継続	継続		
			いいともあいち地域サロンの開催 7地区	7地区で開催		
			いいともあいち推進店の登録の推進	1,157店舗		
	評価	A	食育推進ボランティアに対する研修会などの開催 7回	7回		
18	学校における食の指導の充実	目標	学校給食において地域の産物を活用する割合 45.0%	35.3%		保健体育課
		事業の内容	「愛知を食べる学校給食の日」の実施 全ての学校給食を実施する公立学校で年3回実施	年3回実施		
			学校給食における県内産米飯の実施回数 3.6回/週	3.7回/週		
			学校給食における県内産米粉パンの年間活用食数 240万食	244万食		
			子どもを対象にした調理コンクールを開催 応募件数 12,000点	11877点		
			学校給食の衛生管理等に関する調査研究 10調理場	10調理場		
			栄養教諭・学校栄養職員衛生管理研修会 1回/年	1回/年		
	学校給食調理員衛生管理研修会 1回/年		1回/年			
評価	C	学校食育推進者養成講座を開催 学校における食育推進の核となる教員養成を図る。 400人	400人			

(2)食に関するリスクコミュニケーションの推進

アクション		2018年度計画		実績	備考	担当課
19	消費者に対する食の安全に関する知識普及	目標	講習会参加者アンケート結果「理解が深まった」旨の回答 95%以上	73.2%		生活衛生課
		事業の内容	食品衛生講習会 30回	26回		
			食の安全・安心教室 4回	7回		
			Facebookページによる食の安全・安心情報の発信 随時	情報発信 31件		
	消費生活情報「あいち暮らしっく」、「消費生活情報メールマガジン」及びSNS(Facebook, Twitter)への食の安全・安心情報の掲載 随時		15回			
評価	C	消費生活相談員に対する食品の安全に関する知識・情報の提供 随時	9回		県民生活課	
20	食の安全に関するリスクコミュニケーションの推進	目標	リスクコミュニケーション参加者アンケート結果「相互理解が深まった」旨の回答 95%以上	96.1%		生活衛生課
		事業の内容	食の安全に関する総合相談窓口の設置 継続	相談件数 38件		
	食の安全・安心タウンミーティングの開催 12回		13回			
評価	A	現地見学型リスクコミュニケーション 2回	2回			

あいち食の安全・安心推進アクションプランの2019年度計画について

視点 1 生産者、加工者、流通・販売者における食の安全管理体制の推進

(1)安全な農林水産物の生産の推進

○アクション1 環境と安全に配慮した農業の推進

2019年度計画		2018年度計画		修正等の理由	担当課
目標	エコファーマーの育成人数 平成32年度までに延べ5,600人	エコファーマーの育成人数 平成32年度までに延べ5,600人			農業経営課
事業の内容	エコファーマーの育成・支援	エコファーマーの育成・支援			

○アクション2 安全な畜産物の生産と家畜疾病の監視

2019年度計画		2018年度計画		修正等の理由	担当課
目標	家畜伝染病発生頭数 過去5年間の発生件数の平均値以下 10件以下	家畜伝染病発生頭数 過去5年間の発生件数の平均値以下 10件以下			畜産課
事業の内容	畜産農家の飼養衛生管理について立入検査の実施 検査実績/検査計画=100%の達成	畜産農家の飼養衛生管理について立入検査の実施 検査実績/検査計画=100%の達成			
	養鶏農家におけるサルモネラ汚染防止対策技術(鶏卵のサルモネラ総合対策指針)の普及	養鶏農家におけるサルモネラ汚染防止対策技術(鶏卵のサルモネラ総合対策指針)の普及			
	BSE検査頭数/96か月齢以上の死亡牛発生頭数=100%	BSE検査頭数/48か月齢以上の死亡牛発生頭数=100%	2019年度から検査対象月齢が変更となるため		
	養鶏農家などでの定期的な鳥インフルエンザ検査 対象9戸 毎月1回延べ1080検体	養鶏農家などでの定期的な鳥インフルエンザ検査 対象9戸 毎月1回延べ1080検体			
鳥インフルエンザ監視検査	鳥インフルエンザ監視検査				

○アクション3 安全なきのこの生産

2019年度計画		2018年度計画		修正等の理由	担当課
目標	県内の生産者における、食品衛生法に基づく放射性物質に関する基準の超過事例 0件	県内の生産者における、食品衛生法に基づく放射性物質に関する基準の超過事例 0件			林務課
事業の内容	生産者団体開催の研修会等において技術・情報の提供 4回延べ60名	生産者団体開催の研修会等において技術・情報の提供 4回延べ60名			
	県産きのご展示PR会等において、きのこの安全・安心に関するパンフレットの配布 PR会1回 パンフレットの配付100部	県産きのご展示PR会等において、きのこの安全・安心に関するパンフレットの配布 PR会1回 パンフレットの配付100部			
	生産者に対し、放射性物質の基準値を超えないきのこ製造原料を使用するよう指導 随時	生産者に対し、放射性物質の基準値を超えないきのこ製造原料を使用するよう指導 随時			

○アクション4 安全な貝類の出荷

2019年度計画		2018年度計画		修正等の理由	担当課
目標	愛知県産貝類の貝毒を原因とする健康被害事例 0件	愛知県産貝類の貝毒を原因とする健康被害事例 0件			水産課
事業の内容	貝毒原因ブランクton調査 調査期間:4~7月、11~3月 調査地点:1回当たり14地点 調査回数:年間18回	貝毒原因ブランクton調査 調査期間:4~7月、11~3月 調査地点:1回当たり14地点 調査回数:年間18回			
	貝毒検査 調査期間:4~5月、3月 調査地点:1回当たり6地点 調査回数:麻痺性5回・下痢性2回	貝毒検査 調査期間:4~5月、3月 調査地点:1回当たり6地点 調査回数:麻痺性5回・下痢性2回			
	自主検査の実施指導	自主検査の実施指導			

○アクション5 農薬の適正な販売・使用による安全な農産物の生産

2019年度計画		2018年度計画		修正等の理由	担当課
目標	本県産農産物における農薬の残留基準値超過事例 0件	本県産農産物における農薬の残留基準値超過事例 0件			
事業の内容	農薬危害防止運動の実施	農薬危害防止運動の実施			農業経営課
	農薬危害防止運動集中実施期間:6~8月	農薬危害防止運動集中実施期間:6~8月			
	農薬適正販売・使用推進会議の開催	農薬適正販売・使用推進会議の開催			
	農薬安全使用対策講習会の開催 5回450名	農薬安全使用対策講習会の開催 5回450名			
	農薬販売者・使用者に対する立入検査 農薬販売者の15%使用者適宜	農薬販売者・使用者に対する立入検査 農薬販売者の15%使用者適宜			
	農薬危害防止のための講習会 20,000名	農薬危害防止のための講習会 20,000名			
	農薬管理指導士の養成 100名	農薬管理指導士の養成 100名			
	農薬取締職員による検査指導の継続・強化 8か所38名配置	農薬取締職員による検査指導の継続・強化 8か所38名配置			
地域特産作物の農薬登録拡大試験の実施 10剤	地域特産作物の農薬登録拡大試験の実施 10剤				

○アクション6 飼料、動物用医薬品及び水産用医薬品の適正使用

2019年度計画		2018年度計画		修正等の理由	担当課
目標	飼料又は動物用医薬品の使用が原因となって生産された有害畜産物による健康被害事例 0件	飼料又は動物用医薬品の使用が原因となって生産された有害畜産物による健康被害事例 0件			畜産課
	水産用医薬品残留規制値を超えた水産物を原因とする健康被害事例 0件	水産用医薬品残留規制値を超えた水産物を原因とする健康被害事例 0件			水産課
事業の内容	飼料製造工場立入検査 9施設	飼料製造工場立入検査 9施設			畜産課
	飼料栄養性検査 18検体	飼料栄養性検査 18検体			
	飼料表示検査 18検体	飼料表示検査 18検体			
	畜産農家等巡回指導・抜取調査 60戸	畜産農家等巡回指導・抜取調査 60戸			水産課
	水産用医薬品の適正使用の指導 対象者:ウナギ、アユ、マス養殖業者 実施率100%	水産用医薬品の適正使用の指導 対象者:ウナギ、アユ、マス養殖業者 実施率100%			
	水産用医薬品の使用状況調査 対象者:ウナギ、アユ、マス養殖業者 実施率100%	水産用医薬品の使用状況調査 対象者:ウナギ、アユ、マス養殖業者 実施率100%			
水産用医薬品の残留確認 対象魚種:ウナギ、アユ、ニジマス 計16検体	水産用医薬品の残留確認 対象魚種:ウナギ、アユ、ニジマス 計16検体				

○アクション7 安全な農産物の生産を目指した技術研究

2019年度計画		2018年度計画		修正等の理由	担当課
目標	安全で良質な農畜産物を生産する技術・品種の開発2016年から2020年までに 5件	安全で良質な農畜産物を生産する技術・品種の開発2016年から2020年までに 5件			
事業の内容	消費者視点に立った食の安全を支える農業の推進 「耐病虫性水稲品種・育種素材の開発」等 10課題	消費者視点に立った食の安全を支える農業の推進 「耐病虫性水稲品種・育種素材の開発」等 10課題			農業経営課

○アクション8 食品流通における食の安全・安心の確保

2019年度計画		2018年度計画		修正等の理由	担当課
目標	食品安全広域機動班が実施する監視の割合(監視実績/監視目標(施設数)) 100%	食品安全広域機動班が実施する監視の割合(監視実績/監視目標(施設数)) 100%			生活衛生課
事業の内容	食品を廃棄する際の不正流通防止について指導	食品を廃棄する際の不正流通防止について指導			生活衛生課
	米トレーサビリティ法の啓発・指導 研修会(20回)等	米トレーサビリティ法の啓発・指導 研修会(20回)等			食育消費流通課

(2) 食品加工施設などにおける自主管理の推進

○アクション9 HACCPに基づいた食品営業者の自主管理の推進

2019年度計画		2018年度計画		修正等の理由	担当課
目標	「愛知県HACCP導入施設認定制度」に基づく新規認定施設数 5施設	「愛知県HACCP導入施設認定制度」に基づく新規認定施設数 5施設			生活衛生課
事業の内容	保健所及び食品衛生検査所等による食品衛生教育講習会 300回	保健所及び食品衛生検査所等による食品衛生教育講習会 300回			
	食品衛生責任者養成講習会 16回	食品衛生責任者養成講習会 16回			
	食品衛生責任者再講習会 100回	食品衛生責任者再講習会 100回			
	HACCP推進事業・自主衛生管理に関する助言・指導 1,100施設	HACCP推進事業・自主衛生管理に関する助言・指導 1,100施設			
	大量調理施設及び食品製造施設に対するHACCPの導入支援 HACCP導入研修 15施設 HACCP実地指導 5施設×1回	大量調理施設及び食品製造施設に対するHACCPの導入支援 HACCP導入研修 15施設 HACCP実地指導 5施設×1回			

○アクション10 食の安全に関する検査・製造技術の研究開発及び指導

2019年度計画		2018年度計画		修正等の理由	担当課
目標	あいち産業科学技術総合センター食品工業技術センターにおける技術指導・相談件数 5,700件	あいち産業科学技術総合センター食品工業技術センターにおける技術指導・相談件数 5,700件			産業科学技術課
事業の内容	講習会等を通じた技術情報の提供	講習会等を通じた技術情報の提供			
	食品製造業者への技術指導の実施	食品製造業者への技術指導の実施			

視点 2 食の安全のための効率的かつ効果的な監視・検査等の実施

(1) 食品の監視・検査の確実な実施

○アクション11 安全な学校給食用物資の供給

2019年度計画		2018年度計画		修正等の理由	担当課
目標	学校給食における食中毒の発生件数 0件	学校給食における食中毒の発生件数 0件			健康学習室
事業の内容	・食材の腸管出血性大腸菌O157検査 ・野菜・果物の残留農薬検査 ・調理品のO157及び細菌検査 3種検査 168検体	・食材の腸管出血性大腸菌O157検査 ・野菜・果物の残留農薬検査 ・調理品のO157及び細菌検査 3種検査 168検体			

○アクション12 食品営業施設に対する監視指導

2019年度計画		2018年度計画		修正等の理由	担当課
目標	食品事業者を原因施設とする食中毒発生件数 12件以下	食品事業者を原因施設とする食中毒発生件数 12件以下			生活衛生課
事業の内容	監視指導計画 88,396件	監視指導計画 90,953件	施設数の減少による見直し		

○アクション13 医薬品成分を含む健康食品などの流通防止

2019年度計画		2018年度計画		修正等の理由	担当課
目標	医薬品成分を含む健康食品による健康被害発生件数 0件	医薬品成分を含む健康食品による健康被害発生件数 0件			医薬安全課
事業の内容	医薬品的効能効果を標ぼうする健康食品の監視指導 15件	医薬品的効能効果を標ぼうする健康食品の監視指導 15件			
	医薬品成分を含む健康食品の買い上げ検査 12検体	医薬品成分を含む健康食品の買い上げ検査 12検体			

○アクション14 輸入食品を含む食品などの安全検査

2019年度計画		2018年度計画		修正等の理由	担当課
目標	流通食品を原因とする食中毒等健康被害事例 0件	流通食品を原因とする食中毒等健康被害事例 0件			生活衛生課
事業の内容	食品衛生監視指導計画に基づく食品などの検査の実施検査計画 11,803件	食品衛生監視指導計画に基づく食品などの検査の実施検査計画 11,798件 (うち流通食品の放射性物質検査100件)		検査計画の見直し	

○アクション15 安全な食肉の流通確保

2019年度計画		2018年度計画		修正等の理由	担当課
目標	食肉を原因とする人獣共通感染症健康被害事例 0件	食肉を原因とする人獣共通感染症健康被害事例 0件			生活衛生課
事業の内容	検査実績(と畜検査頭数+食鳥検査羽数)/申請件数(と畜検査頭数+食鳥検査羽数) = 100%の達成 と畜場の衛生監視 12件	検査実績(と畜検査頭数+食鳥検査羽数)/申請件数(と畜検査頭数+食鳥検査羽数) = 100%の達成 と畜場の衛生監視 12件			

○アクション16 食品表示の調査・監視

2019年度計画		2018年度計画		修正等の理由	担当課
目標	夏期一斉監視における表示不適の割合 1%以下	夏期一斉監視における表示不適の割合 1%以下			生活衛生課
事業の内容	消費生活モニターへの食料品に関する情報提供 3回	消費生活モニターへの食料品に関する情報提供 3回			県民生活課
	消費生活モニターなどへの食の安全・安心に関する知識・情報の提供 研修会(1回)など	消費生活モニターなどへの食の安全・安心に関する知識・情報の提供 研修会(1回)など			
	食品表示基準(保健事項)をホームページにより情報提供	—		食品表示法の完全移行に向けた新規事業	健康対策課
	食品衛生監視員による食品表示法監視の実施 継続	食品衛生監視員による食品表示法監視の実施 継続			生活衛生課
	食品表示法に基づく食品表示基準(品質事項)の遵守状況調査の実施 計画実施率100%	食品表示法に基づく食品表示基準(品質事項)の遵守状況調査の実施 計画実施率100%			食育消費流通課
	食品表示110番の設置 継続	食品表示110番の設置 継続			
普及啓発研修会の開催 20回	普及啓発研修会の開催 20回				

視点 3 県民の食の安心に向けた普及啓発・教育の充実

(1)食の安心に向けた食育の推進

○アクション17 地産地消や食育の推進

2019年度計画		2018年度計画		修正等の理由	担当課
目標	食育推進ボランティアから食育を学んだ人数 10万人	食育推進ボランティアから食育を学んだ人数 10万人			食育消費流通課
事業の内容	いいともあいちネットワーク会員の充実	いいともあいちネットワーク会員の充実			
	ホームページなどの情報発信の充実 継続	ホームページなどの情報発信の充実 継続			
	いいともあいち地域サロンの開催 7地区	いいともあいち地域サロンの開催 7地区			
	いいともあいち推進店の登録の推進	いいともあいち推進店の登録の推進			
	食育推進ボランティアに対する研修会などの開催 7回	食育推進ボランティアに対する研修会などの開催 7回			

○アクション18 学校における食の指導の充実

2019年度計画		2018年度計画	修正等の理由	担当課
目標	学校給食において地域の産物を活用する割合 45.0%	学校給食において地域の産物を活用する割合 45.0%		健康学習室
事業の内容	「愛知を食べる学校給食の日」の実施 全ての学校給食を実施する公立学校で年3回実施	「愛知を食べる学校給食の日」の実施 全ての学校給食を実施する公立学校で年3回実施		
	学校給食における県内産米飯の実施回数 3.6回/週	学校給食における県内産米飯の実施回数 3.6回/週		
	学校給食における県内産米粉パンの年間活用食数 240万食	学校給食における県内産米粉パンの年間活用食数 240万食		
	子どもを対象にした調理コンクールを開催 応募件数 12,000点	子どもを対象にした調理コンクールを開催 応募件数 12,000点		
	学校給食の衛生管理等に関する調査研究 10調理場	学校給食の衛生管理等に関する調査研究 10調理場		
	栄養教諭・学校栄養職員衛生管理研修会 1回/年	栄養教諭・学校栄養職員衛生管理研修会 1回/年		
	学校給食調理員衛生管理研修会 1回/年	学校給食調理員衛生管理研修会 1回/年		
学校食育推進者養成講座を開催 学校における食育推進の核となる教員養成を図る。 400人	学校食育推進者養成講座を開催 学校における食育推進の核となる教員養成を図る。 400人			

(2)食に関するリスクコミュニケーションの推進

○アクション19 消費者に対する食の安全に関する知識普及

2019年度計画		2018年度計画	修正等の理由	担当課
目標	講習会参加者アンケート結果「理解が深まった」旨の回答 90%以上	講習会参加者アンケート結果「理解が深まった」旨の回答 95%以上	目標値の見直し	生活衛生課
事業の内容	消費生活情報「あいち暮らしっく」、「消費生活情報メールマガジン」及びSNS(Facebook、Twitter)への食の安全・安心情報の掲載 随時	消費生活情報「あいち暮らしっく」、「消費生活情報メールマガジン」及びSNS(Facebook、Twitter)への食の安全・安心情報の掲載 随時		県民生活課
	消費生活相談員に対する食品の安全に関する知識・情報の提供 随時	消費生活相談員に対する食品の安全に関する知識・情報の提供 随時		
	食品衛生講習会 30回	食品衛生講習会 30回		
	食の安全・安心教室 4回	食の安全・安心教室 4回		生活衛生課
Facebookページによる食の安全・安心情報の発信 随時	Facebookページによる食の安全・安心情報の発信 随時			

○アクション20 食の安全に関するリスクコミュニケーションの推進

2019年度計画		2018年度計画	修正等の理由	担当課
目標	リスクコミュニケーション参加者アンケート結果「相互理解が深まった」旨の回答 95%以上	リスクコミュニケーション参加者アンケート結果「相互理解が深まった」旨の回答 95%以上		生活衛生課
事業の内容	食の安全に関する総合相談窓口の設置 継続	食の安全に関する総合相談窓口の設置 継続		
	食の安全・安心タウンミーティングの開催 12回	食の安全・安心タウンミーティングの開催 12回		
	現地見学型リスクコミュニケーション 2回	現地見学型リスクコミュニケーション 2回		